

第2回まち・ひと・しごと創生総合戦略会議 議事要旨

開催日時 令和元年10月4日(金) 13:30～

開催場所 生駒市役所 4階 401・402会議室

出席者

(参加者) 久 隆浩氏、大原 暁氏、蓮花 一己氏、篠田 直喜氏、内藤 利彦氏、鐵東 敦史氏
(事務局) 増田市長公室長、岡村秘書企画課長、日高秘書企画課主幹、片山秘書企画課員

以下、議事要旨

(1) 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について

基本目標1

(意見)

- ・教育分野において、ICT教育や英語教育は、来年度から全国的に実施されるものなので、ただ実施するだけでは差別化が図れない。生駒らしいプラスαを検討すべき。一方で、先生も授業方法を模索しているところなので二段構えでの支援が必要。
- ・英語はあくまでも手段なので、その先の活用方法をイメージできるように教える必要がある。伝わった喜びが語学習得を進めるので、国際交流の機会を提供できると良い。
- ・防災については、地域の防災士の活用や支援など、自主防災会以外の支援も盛り込めると良い。

基本目標2

(意見)

- ・交通の高齢化などにより、自動運転による移動の支援も注目を浴びている。子どもも運転免許を持っていないという意味で交通弱者と言える。子育てしやすいまちを目指すうえで、移動支援をどこかに盛り込めると良い。
- ・企業誘致については、どんな企業に来てもらいたいかをイメージして、シリコンバレーやシンセンのように戦略的な誘致により文化を作っていく必要がある。

基本目標3

(意見)

- ・観光分野について、書きぶりが一般的になっている。立地や環境を踏まえて色をつけていきたい。生駒を拠点にする長期滞在者をターゲットにするという方法もある。
- ・ミライ会議については、行政主導で開催箇所を決めて開催回数を増やしていくのではなく、地元から手が挙がるのを待つことも大事。これを踏まえてKPIを設定されたい。